生駒市 スマホサミット ワークショップ 実施報告書

平成29年1月 生駒市



目 次



I	開催概要	. 1
П	いこまスマホ宣言2016	. 3
Ш	ワークショップの内容	. 4
IV	ワークショップで出された意見	11
	1 スマホ・ケータイのルール案2 スマホ・ケータイの良いところ、悪いところ・イヤなところ	12
V	講評と参加者の感想	24
	1 講評	24
	2 参加者の感想	24

I 開催概要

【趣旨】

生駒市内の子どもたちへのアンケートによると、約8割の小学生、約9割の中学生が、携帯 電話やスマートフォンを持っている、使っているという調査結果がある。

インターネットの普及は、私たちの生活を便利にしている一方、SNS利用によるトラブルやいじめ問題、様々なサイトを通じて青少年が犯罪の被害者、あるいは加害者になるという問題が発生するなど、大人を含め、子どもたちに携帯電話やスマートフォンの適正な使い方が求められている。

このため、市内の中学生、小学生、高校生の参加のもと、ワークショップを通じて、携帯電話やスマートフォンを利用する上での問題点を出し合って、自分たちが利用する上での、ルール、マナーづくりを行った。

ワークショップによりまとまった「ルール」は、参加者から市長への提案として、広報誌やホームページを通じて、広く市民の皆さんに周知する。参加者は、ワークショップの内容を学校に持ち帰り、児童会、生徒会などを通じて、各自の学校に応じたルールづくりを工夫し、友達や家族に広げていくことを期待するものである。

〈企画概要〉

ネット、スマホを利用する上での問題点

- ・SNSのトラブル
- ・ネットいじめ
- 長時間利用
- ・ 出会い系被害等

ワークショップで可視化、子どもたち自身にスマホ、ネットの利用上でのマナー、上手な付き合い方などのルール作りをする。

〈目 標〉

- ①子どもたち自身がスマートフォン、インターネット利用上の危険性に気がつく
- ②小中学校でスマートフォン、インターネットの取り組みにつながる行動変容
- ③スマートフォン、インターネットの安全利用のための生駒市の子どもの自主ルール策定、 提言

【参加者】 市内の8中学校・2小学校の代表者と市内在住の高校生

【ワークショップの概要】

日時 : 平成28年12月18日(日)9時30分~15時

場所 : 生駒市役所 4階 大会議室

参加者 : 3 7 名

[内容]

午前の部

- ●アイスブレイク
- ●進め方の説明
- ●グループワーク スマホ・ケータイの良いところ、悪いところ・イヤなところ
- ●グループ発表・投票

午後の部

- ●進め方の説明
- **●グループワーク** ルールの作成
- ●グループ発表・投票
- ●**グループワーク** ルールを広めるためのアイデア
- ●グループ発表

【コーディネーター】 石川千明(一般社団法人ソーシャルメディア研究会)

【ファシリテーター】 アルパック 株式会社地域計画建築研究所

【進行補助】 一般社団法人ソーシャルメディア研究会

Ⅱ いこまスマホ宣言 2016

1時間

考えよう自分の居る場所やるべきこと

「使って良い場所なのか、勉強の時など使っても良い時間なのか、まずは今やるべき ことを考えて使いすぎないようにしよう、という気持ちから考えました。」

②人間関係

スマホがないと仲間じゃない それは本当の友達?

「前はスマホは無かったし、スマホがなくても連絡が取れたのに、今はスマホが無い と友達じゃないっていうのはおかしい、という気持ちから考えました。」

3危険

見たくても一歩止まって考えよう

「いろんなサイトを見るときも見ても大丈夫か一歩立ち止まって考えること、歩きスマホにも気をつけてほしい、という気持ちから考えました。」



Ⅲ ワークショップの内容

午前の部

- ●生駒市挨拶
- ●全体の流れの説明(コーディネーター)
- ●ファシリテーター等自己紹介
- ●アイスブレイク(全力ハイタッチ、ひたすらじゃんけん)
- ●ワークショップ説明
- ●グループワーク

つみき自己紹介

スマホ・ケータイの良いところ、悪いところ・イヤなところの書き出し カテゴリー分け

タイトル、チーム名決め

プレゼン練習

●グループ発表

発表

シール投票

午後の部

- ●午後のプログラムの説明 (コーディネーター)
- ●グループワーク

ルールの作成(各自)

グループでのルール作成

●ルールの投票

いこまスマホ宣言 2016 の決定

●グループワーク

ルールを広めるためのアイデア

コーディネーターによる説明資料



2016年12月18日

いこまスマホサミット 2016

一般社団法人 ソーシャルメディア研究会 石川千明



スマートフォンの使い方

ルールがないから 失敗する人が多い

ルールは・・・

- ①家庭
- ②学校
- ③地域

みんなで生駒市の子どもの ルールを考える

おとなスタッフ紹介

アイスブレイク

班分け



ワークショップ スタート!

①自己紹介タイム

つみき自己紹介

②班長を決めます

今日は班長を中心に進めます 誰でもいいです じゃんけん以外の方法で

③付せんに書く

- 付せんを分ける
- スマホ・ケータイの良いところ
- どんどん書きます

3分間



4付せんに書く

スマホの悪いところ、イヤなところ 困ったなぁと思うこと どんどん書きます

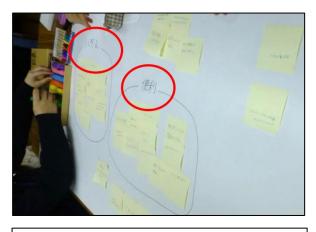
3分間



⑤カテゴリー分け

- 模造紙にカテゴリー(グループ) に分ける
- カテゴリー名をつける

15分間





カテゴリーのヒント

時間、お金、ゲーム、

SNS、マナー、人間関係、

健康、いじめ、言葉、

コミュニケーション・・・

⑥タイトルとチーム名

タイトル、チーム名を 決めます

⑦プレゼン練習

チームで発表する分担を決める

- ①チーム名
- ②タイトル
- ③わかったこと

5分間

8発表

発表する順番を決めます 発表をします。

- ①チーム名
- ②タイトル
- ③わかったこと

各チーム3分間

9投票

シール投票します



発 表

午後の説明

ルール作りの ワークショップ

いこまスマホ宣言 2016

いこまスマホ宣言2016

① 時間

考えよう自分の居る場所やるべき事

②人間関係

スマホがないと仲間じゃない それは本当の友達?

③危険

見たくても一歩止まって考えよう

振り返り

学校でできること

ワークショップの様子

































Ⅳ ワークショップで出された意見

1 スマホ・ケータイのルール案

	【A班】 チームゆうた	【B班】 ポカなカうや班	【C班】	【D班】 チームD	【E班】 良い班
	もやめろ	話すとき	公共の場では	スマホがね	"考えよう
①時間	時より高価な	スマホじゃなくて	すべての音を	いろんな愛を	自分の居る場所
	スマホなし	相手見る	消音に。	こわしてく	やるべき事"
	既読無視	既読無視	既読するのなら	SNS	スマホがないと
②人間	相手にきっと	私の気持ちも	返信せよ。	少しのミスで	仲間じゃない
関係	理由あり	考えて~		sos	それは本当の
					友達?
	あっ危ない	ながらスマホで	まわりが安全か	見たくても	スマホは
3危険	スマホ見てたら	あの世へGO	どうかを	一歩止まって	つかまらない
	気づけない		確かめる。	考えよう	薬物!

2 スマホ・ケータイの良いところ、悪いところ・イヤなところ

【A班】チームゆうた

「簡単なコミュニケーション情報ツール」



●情報

- 情報・ニュースがすぐ分かる
- 情報がすぐ届く
- インターネットで色々なことをいつでも調べたりできる
- ・遠い外国の街並み、文化が分かる

●間違った情報

- 信用できるサイトか分からない
- ・変な広告を押してしまうと、とんでもない事になる
- ・悪いサイトへ簡単にいくことができる
- ・正確な情報でないときがある
- ・PC を買うとき、レビューと実物が違う

●情報発信

- ・自分の作ったものを世界中の人に見せることができる
- ・見知らぬ人とも簡単につながってしまう
- ・簡単に悪口を言うことができる
- ・簡単に情報が広がってしまう

- ・住所特定される
- ・容易に悪口差別的言動を使う

●コミュニケーション

- 連絡がすぐできる
- メールのやり取りができる
- なかなか会話をやめることが出来なくなる
- ・友達とのトラブルが起きてしまう時がある
- ・文字だけなので、感情が伝わらない
- ・ラインなどのメールのやり取りで悪口を書かれる

●機能

- 写真が撮れる
- ・音楽を聴くことができる
- 覚えておきたいことをメモできる
- ・地図を見ることができるる
- ・音楽を聴いたり、ゲームができる
- 動画テレビを見ることができる

(危険)

- ・使いすぎると寝不足になる
- ゲームで課金がある
- ・持ち運びが便利で手軽に使えるので、歩きながら使ってしまう

【B班】ポカなカうや班

「あわてないあわてない一休み一休み」



●会話の減少

- ・家族との団欒の時間が無くなる
- ・友達といる時もスマホを触っていて、会話が少なくなる

●人間関係

- ·(ライン・ゲームで)話についていけなくなる
- ・スマホを持っていない人が話題についていけない
- ラインなどで話がかみ合わなくて、けんかになってしまう
- ・チャットグループの中で、そこにいない人の悪口を言っている

●課金

- ・課金ゲームとかだったら、お金を使いすぎる
- お金がかかるアプリがある

●壊れやすい

●インターネット

- 分からないことがあれば、すぐに調べられる
- ・インターネットを使うと、危ないサイトが出てくる

●便利な機能

- ・マンガや、動画を見ることができる
- 色々なゲームができる
- ・行ったことがない場所でも、地図を使っていける

●操作

・操作が簡単で、使いやすい

●生活リズム

- ・スマホばかり触って、睡眠時間が少なくなる
- ながらスマホをすると、事故がおきてしまう

●視力低下

- ・視力が低下する
- 目が悪くなる

●写真

・勝手に他人に写真をとられる

●持ち運び

持ち運びができる

●音楽

・音楽が聴ける

●その他

・懐中電灯になる

●電池

すぐ充電が切れる

●こわさ

- ・自分の知らないところでグループが出来ている
- 知らないところからメール・ラインがくる
- ・知らないうちに通知が300件を超えている

●連絡

- ・学校にいるとき以外でも、友達としゃべることができる
- ・遠くにいる友達と連絡が取れる
- ・メールができる

【C班】

「スマホの光と影」



●通話

- ・話したい人が遠くにいても、通話などができる
- ・無料通話などを利用できるので、電話の料金の使用が減る
- ・ラインなどのアプリで無料通話ができる
- ・他の人とすぐに連絡が取れる

●アプリ

- ・便利なアプリ(勉強アプリ)があるが多い
- ・地図を見ることができる
- ・知らない漢字に変換してくれる
- ・音楽が聴ける(または、録音してくれる⑨
- ・時計がなくても時間が分かる
- ・ファイルマネージャーを利用すれば、データの買い替えができる
- ・予定表が作れて、好きな時に見れる
- ・一定の時間になると知らせてくれる
- ・簡単に自分好みに壁紙を変えたりして、カスタマイズできる

●写真・動画

- ・写真などを撮って、すぐに加工できる
- 見たい動画などがすぐ見える
- ・写真が撮れて、いつでも見れる

●買い物

ものを買うことができる

●ゲーム

- ・ゲームができる
- 一人の時も楽しませてくれる
- ・自分好みのゲームをほぼ無料でプレイできる

●調べもの

・調べたいものがある時に、調べることができる

●健康

- ずっとさわっていると、目が悪くなる
- ・夜更かしする場合がある

●使用時間

・使用時間が長くなることが多い

●いやがらせ

- ・YouTube などでコメントができる分、荒れることもある
- ・友達とのメールのやり取りで、感情が伝わらないのでトラブルが起こる
- ・連絡の時に相手の表情が分からない
- ・顔を見て話せないから、誤解がおきたりする
- ・ネットでいじめがおきたりする
- ・掲示板などで、悪口をかかれたりする

●個人情報

- ・ 個人情報が流出したりする
- ・住所の特定がおこる

●犯罪

- 闇サイトがある
- ワンクリック詐欺などがある
- ・スマホを利用した犯罪が増えている
- ・ハッキングされるかもしれない
- ・ラインでウイルスに感染する
- ・アプリが多いため、危険と分からずにダウンロードしてしまうことがある

【D班】チームD

「スマホの利点と欠点」



●つながり

- ・ 電話やメールができる
- 連絡を取りやすい
- ・手紙より早く連絡ができる
- ・他人からの意見を聞くことができる
- ・遠くにいる相手に気持ちを手軽に伝えることができる
- ・ラインが出来て、友達とやり取りができる
- ・知らない人でも、ラインは追加できる
- メールの内容を勘違いされる
- ・既読スルー

●スマホ依存

・スマホにはまってしまって、他のことが出来なくなる

●メモ

・今日の予定が分かる、メモができる

●アプリの便利さ

- ・健康状態が分かる
- ・今日の天気が分かる
- お店でポイントを貯めれる
- ・位置情報がすぐわかる、道を教えてくれる

- ・自分の知らない情報が簡単に手に入る
- すぐに調べることが出来る

●画像写真

- ・写真で友達との思い出が残せる
- ・自分の写真を知らないところに載せられてしまう
- ・自分の情報が知らない人に知れ渡る
- ・ボタン一つで自分の個人情報が知られてしまう

●手軽

- 持ち運びがしやすい
- どこでも使える

●SNS の言動

- 知らないところで悪口を書かれる
- メールで悪口を書かれる
- コミュニケーション能力が失われる

●不適切な情報と詐欺

- 他人にアクセスされる
- ・不適切な情報の数が多い
- ・詐欺に騙される
- ゲームなどをダウンロードする時にお金がいつの間にか要求されている

●暇つぶしになる

- ・ゲームができる
- ・遊ぶことが出来る
- ・音楽が聴ける

【E班】良い班

「スマホ塾」



●機能

- ・時間が分かる
- ・色々な情報を知ることが出来て便利
- ・情報がたくさん入る
- ・地図のアプリで約束の場所への道が分かる
- すぐに調べられる
- ・電車バスなどの交通手段の時間が分かる
- ・ネットでいろいろ見ながら、何が見ていいやつか分からなくなる

●アプリ

- ネットで欲しいものを買える
- ・自分のスケジュールの管理ができる
- ・ゲームができる
- 美容室などの予約をすぐできる
- ・インターネットがつながる
- 音楽が聴ける
- 外でテレビが見れる
- 色々なアプリを無料でできる

●カメラ

・カメラがなくても写真が撮れる

- ・思い出を残せる
- ・写真を撮ったり、編集できる

●便利

- 時間をつぶせる
- 一つのもので色々なことが出来る
- ・充電ができるから、長く使える

●メール・電話

- すぐに誰とでもつながることができる
- ・夜遅くまで会話が続く
- ・会っていなくても話すことが出来る
- 気軽に誰とでもつながれる
- コミュニケーションが取れる
- ・友達や家族などとメールのやり取りができる

●プライバシー

- ・Twitter などの成りすましがあること
- ・何もしていなくてもメールなどでお金を請求される
- 乗っ取られる
- ・嫌なことを掲示板に書き込んでいる人がいること
- ・悪口を書き込まれる
- ・本当の情報とウソの情報がある
- ・よくわからないサイトを開いてしまい、いつの間にかお金がかかっている
- 歩きながらいじっている人がいて危ない
- ワンクリック詐欺
- ウィルスが入ってくるときがある
- ・自分の知らない人と勝手につながってしまう

●軽い

持ち運べる

●制限

- ・ 通信が遅くなる
- ゲームやネットなどをしているときに広告がやたらと多い
- 調べものをしすぎるとアプリの起動が遅くなる

●迷惑行為

- どうでもいいようなことが忙しい時に送られてくる
- ・迷惑メールやチェーンメッセージがまわってくる
- ・メールなどによるいじめ
- ・メールやラインなどでの勘違い

●友人関係

- ・間違えて友達に送ってしまったら、取り返しのつかないときがある
- ・ラインでいじめがおきる

- ・遊びに行くときずっとさわっていると、会話が弾まない
- みんなゲームに夢中でスマホばかり見ている

●依存

- ・依存してしまって、集中できなくなってしまう
- 目が悪くなる
- ・顔を知らない人とのやり取り(良いところと悪いところがある)
- ・友達に誘われて夜遅くまで起きていること

●個人情報

- ・個人情報がばれる
- ・勝手に写真が使われる

●騙し

- 課金などを勧められたりする
- ・無料のアプリを有料にして、騙していること
- ・偽物のアプリと本物のアプリがあって、見分けがつかない

3 ルールを広めるためのアイデア

〇ポスター/ポスターセッション

- クラスなどでルールのポスターを制作する
- ・公共の場でポスターを使ったポスターセッションをする

○学校新聞/プリント

- ・各校の生徒会でルールを紹介する学校新聞を作る
- ルールをプリントして配る

〇抜き打ちテスト

・朝の会、帰りの会や給食のときなどにルールの抜き打ちテストをする

〇全校集会/学級会

・全校集会や学級会時に生徒会や学級委員がルールを確認する

○その他

- ・ルールをテーマにした「いかのおすし」のような歌を作る
- 文化祭でルールを劇にする
- ・授業にルールを取り入れる

V 講評と参加者の感想

1 講評

一般社団法人 ソーシャルメディア研究会 石川 千明

短い時間でしたが、初めて出会った子どもたち同士、意見を出し合い、発表をまとめていくワークショップの過程で、多くの学びや気づきがありました。「ワークショップは初めて」という子どもから「みんなで考えたり、話し合いをすることが楽しかった」とコミュニケーションの楽しさを感じていた子どももいました。

スマホ、ネットを利用しない日が無い彼らにとって、リスクを回避しながら上手にネット利用する為には、互いに学び合い、フォローしあえる関係性を作ること、そして大人が作った押し付けのルールではなく、彼ら自身の気づきから考え出した、自分や友達を守るためのルール作りが必要不可欠です。

今回彼らが考えあげた「いこまスマホ宣言」をスタートに市内各校の取り組みにつなげていた だければ幸いです。

2 参加者の感想

多様な意見から考える

「すでにスマホを使っている人と使っていない人の両方の意見を聴くことができて良かった。 宣言は友達や家族に伝えて、コミュニケーションの方法を考えるきっかけにしたい。」

(中2男)

自分たちの言葉で伝える

「危険性は分かっているつもりだったけれど、みんなと話し合うと気づくことがたくさんあった。 学校では、この宣言を自分たちの言葉でしっかりと伝えようと思う。」

(中2女)

「知らない」は危険

「スマホはまだ持っていないが、何も知らないまま使うと危険なことがたくさんあると分かった。 実際に使うまでに、どうして使うのが安全なのか確認しておきたい。」

(小5男)